

日本昔話ばなし



橋立小女郎

ハンダテコジョロウ

成年
コミック

池竜静留

むかしむかし

丹後の国の
「天橋立」には
一匹の白狐が
棲んでいた

はしだてこじょうろう
橋立小女郎

美しい女に化けては
人を騙していたため
その名がついたと云う



ある日の
こと

江尻村の漁師の
源十と太平が舟に
魚や野菜を積んで
宮津の港へ
向かっていた

舟が千貫松に
さしかかった時
可愛らしい
女子の声
が聞こえた

もし、その
お二人さん

わっちは
旅の娘で
ござりんす
どうか宮津まで
乗せてって
おくんなんし



なんと
籠の中の魚は
全て消え失せ

ケフッ

子女郎が
満足そうに寝て
いたのだった

これには
源十も
堪忍袋の
緒が切れて

子女郎を
叩き殺そうとした

あまりの剣幕に
驚いた子女郎は

ぎゃあ
うわ

ド
ン

堪忍して
おくんなんし

もう二度と
悪いことは
しんせんの
命だけは！

と、耳と尻尾を
隠すのも忘れる
ほど大慌てで
娘に化けて

同情を誘うように
命乞いをした

もう
騙されんわい！！

しかし

源十の怒りは
収まらなかった

あれえ

こ
や
ん

子女郎の
身包みを剥ぎ取り
荒縄で縛り上げて
辱めた

ぎゃうっ……

縄が食い込んで
痛うてたまりません

どうか解いて
おくんなんしい

くすん

ざち

ざち

ぽろ

ぽろ

と

すすり泣きながら
懇願する子女郎

ケモノとはいえ
その姿はあまりにも
扇情的だった

ハッ

危険な性癖の扉が
開きそうになった
源十は我にかえり

と、とりあえず
こん中に
入っとれ！

んぎゅっ

ま、魔羅が…

大根を入れていた
背負い籠に子女郎を
押し込めると

目に入らないように
ござで蓋をした

一息ついた
二人は再び
江尻村へ船を
進め始めた

にしても
こいつ
どうすんべ？

ぎーこ

村に帰ってから
考えらあ

ぎーこ

しかし
どうした
ことか
いくら漕いでも
村の方へは
進めなくなり

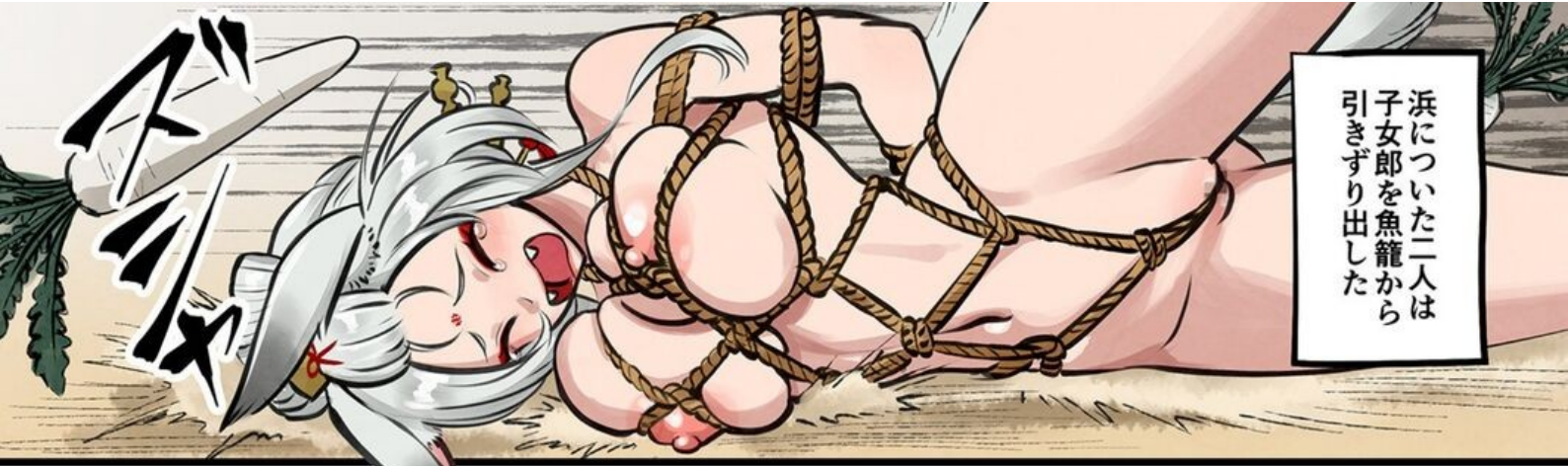
ダメじゃ
全然進まん

二人は帰れなく
なってしまった

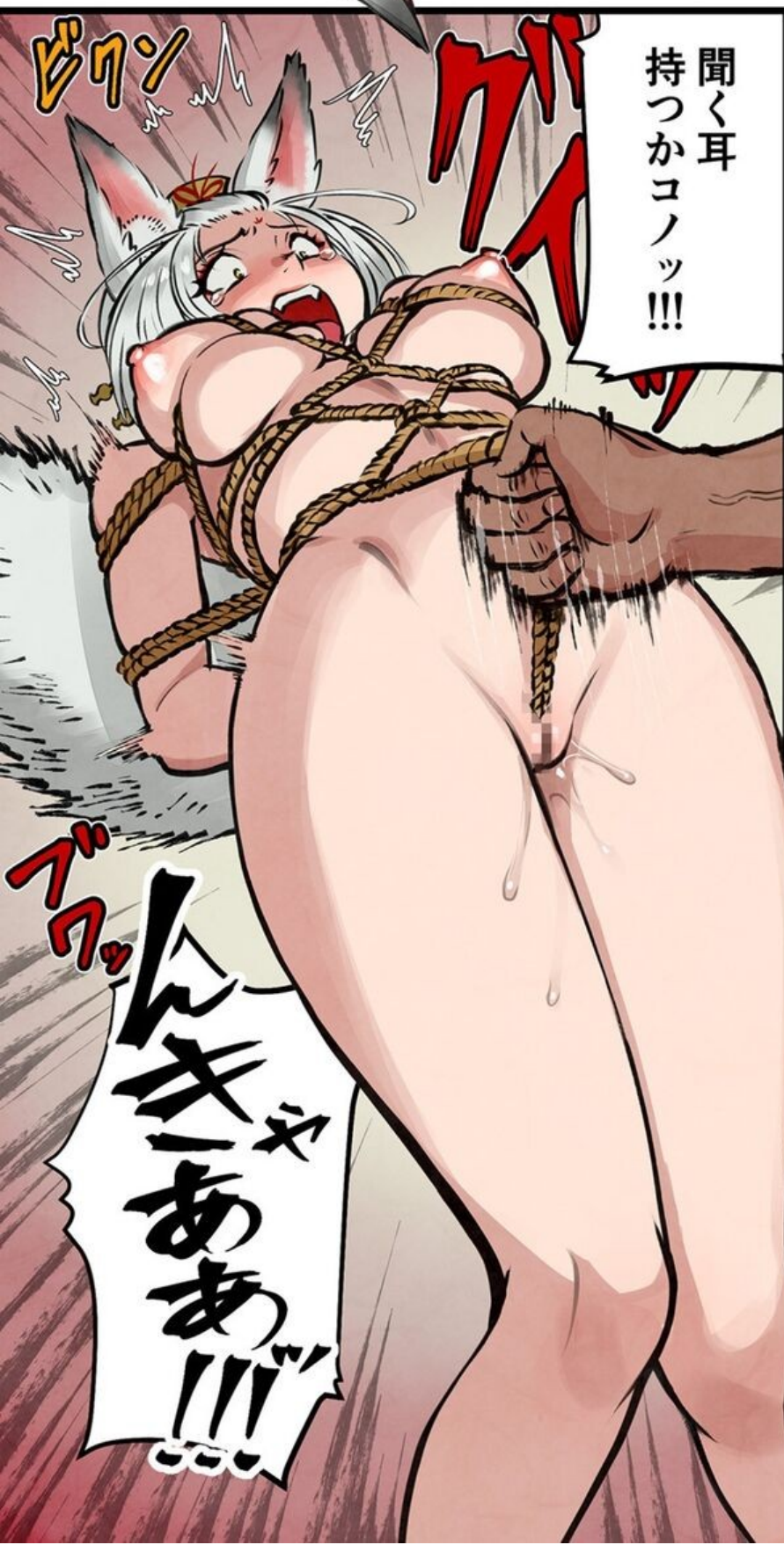
これも
子女郎の仕業と
悟った二人は
怒り狂い

浜に向かって
がむしゃらに漕いだ

今日2回目
じゃあああ!!



浜についた二人は
子女郎を魚籠から
引きずり出した



聞く耳
持つかコノツ!!!



もう
勘弁ならん!!

何度も何度も
化かしおって!



ご、誤解で
ありんす!

わっちは
なにもして
ござりんしん!



人間様の怖さ
体に叩き込んで
やらあ！

股が裂けて
しまいんすう！！

痛い痛い
痛いイイッ！！



ミチ

ミチ
うるせえ！！



ギョウ
ギョウ



小便が！

小便が漏れて
しまいんすう！！

もう
堪忍してえ！！

ピュ
ピュ





やめて
おくんなんし!

こんなの
入りません!!

ア

ア



入らねえ
だあ?

ア

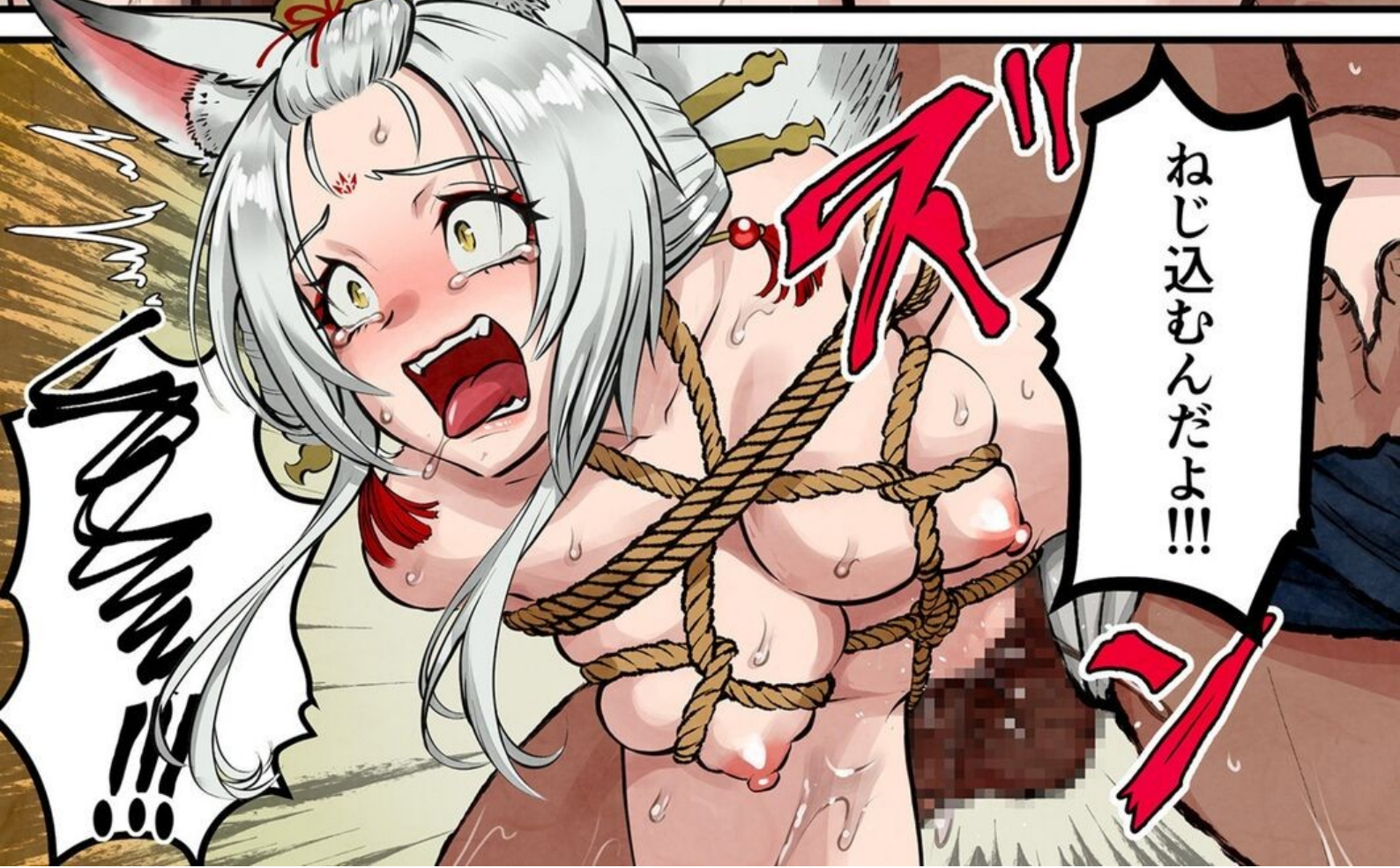
ア



ビィッ

なあに
言ってん
でえ
本番はこれから
じゃあ!!

にっず



ねじ込むんだよ!!!

ズ

ズ



※土器玉門 (からわけつび) パイパンま○この古語

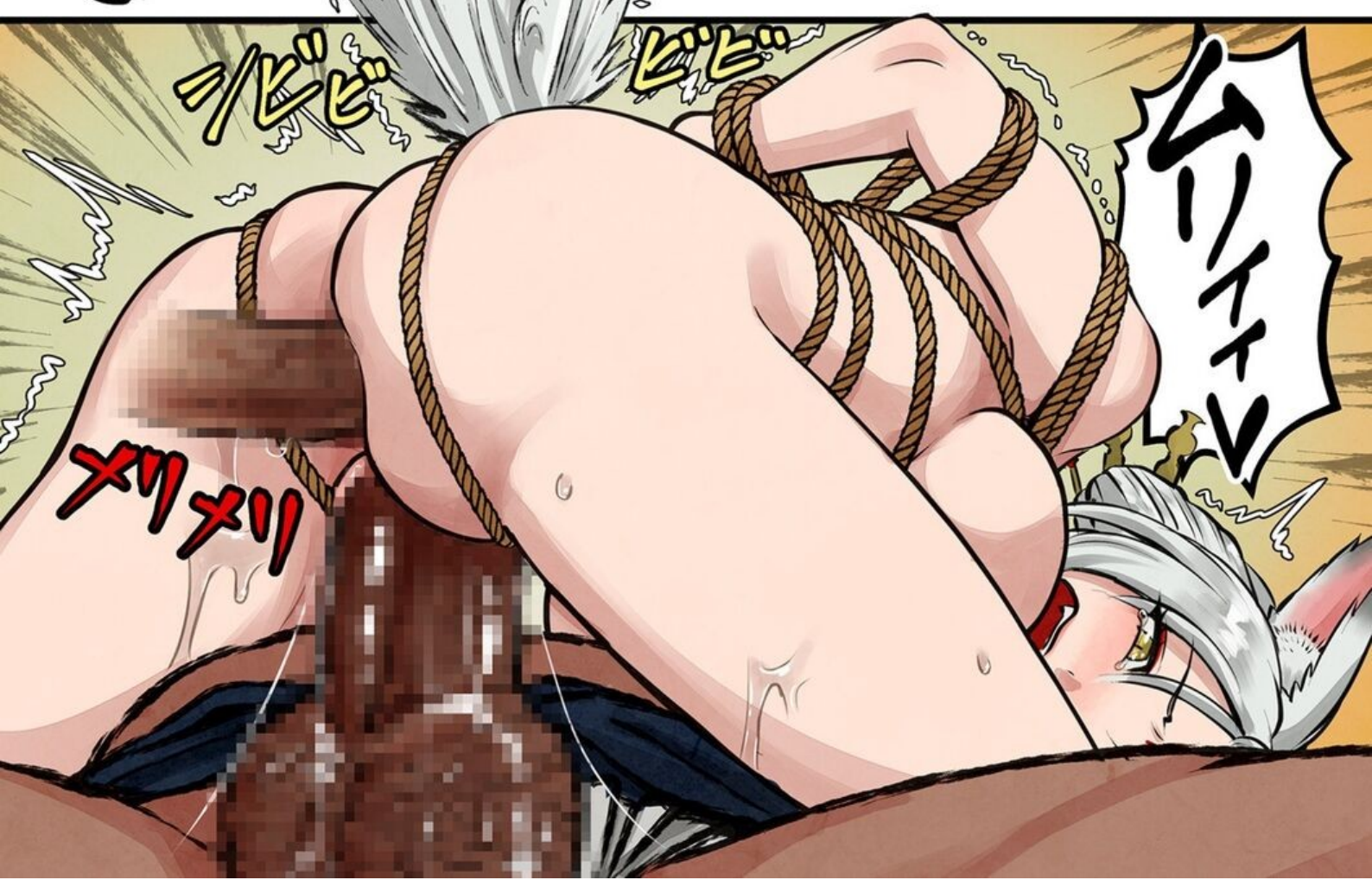


源十！
ワシにも
やらせてくれえ！



こやつ
とんでもない
名器じゃあ！！

くそお

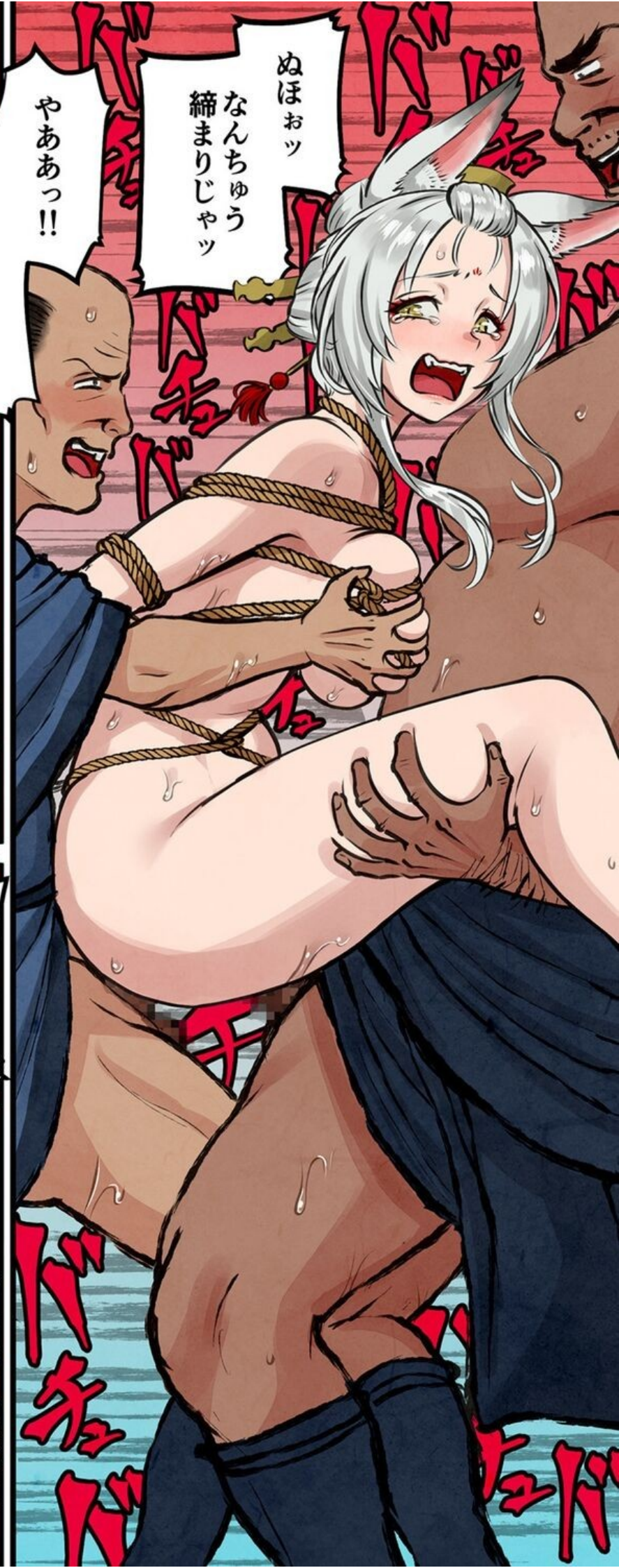




グチャッ

腹の中でゴリゴリ
擦れてやすうッ

グチャッ



ぬほおッ

なんちゅう
締まりじやッ

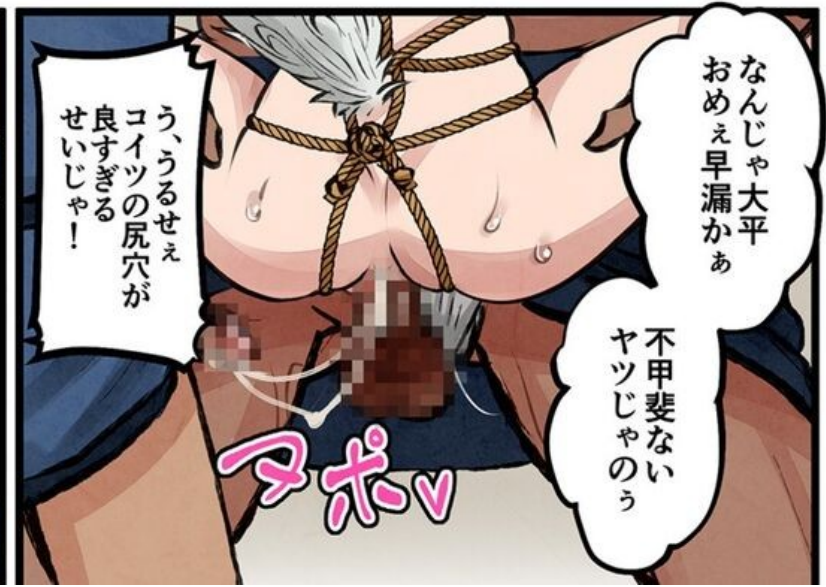
やああッ!!

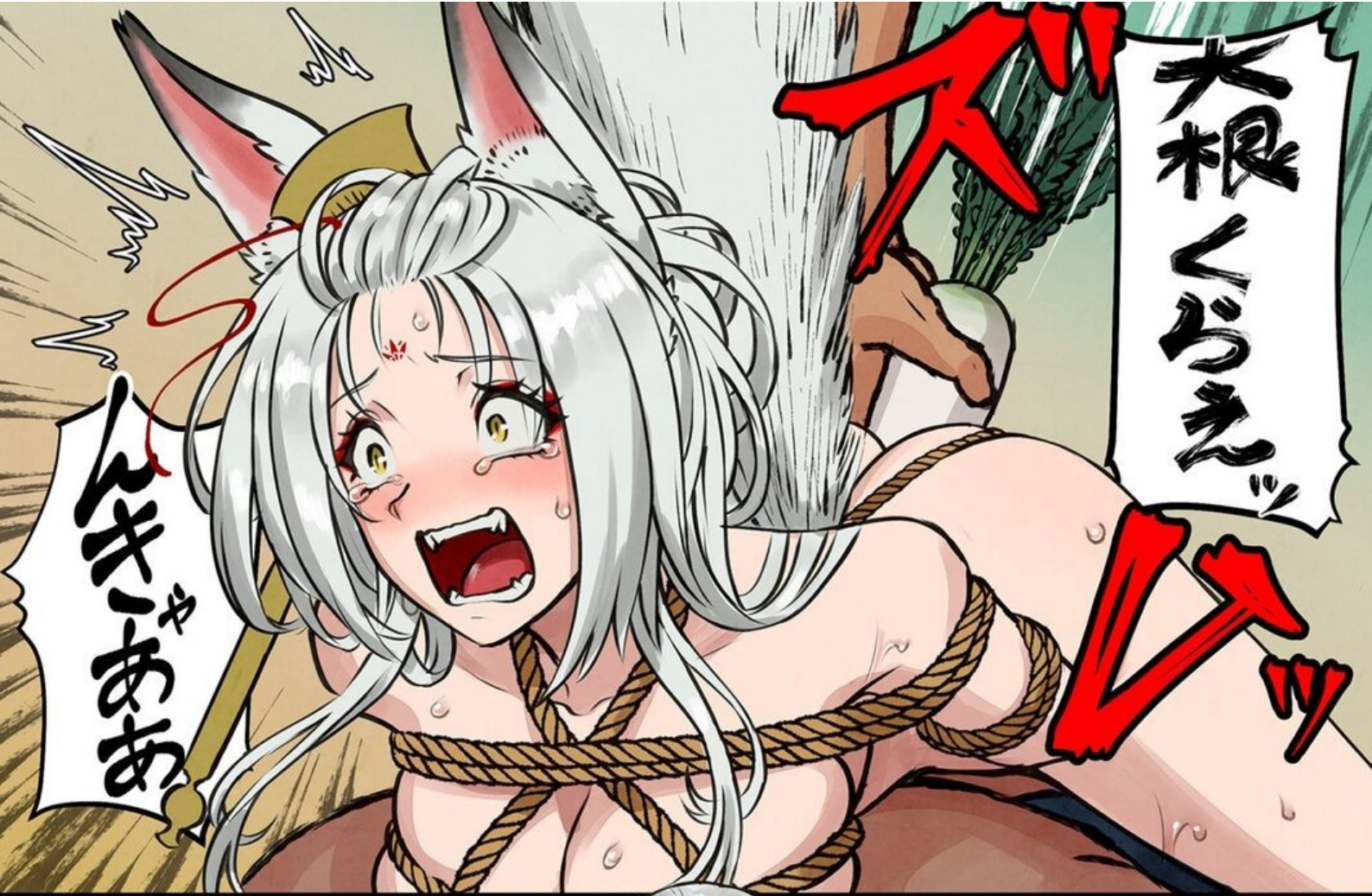


ブルブルッ

こ、これは
我慢できん!!

やッ!
ダメッ!
出さないで!!





是が非でも
孕ませたく
なる!!

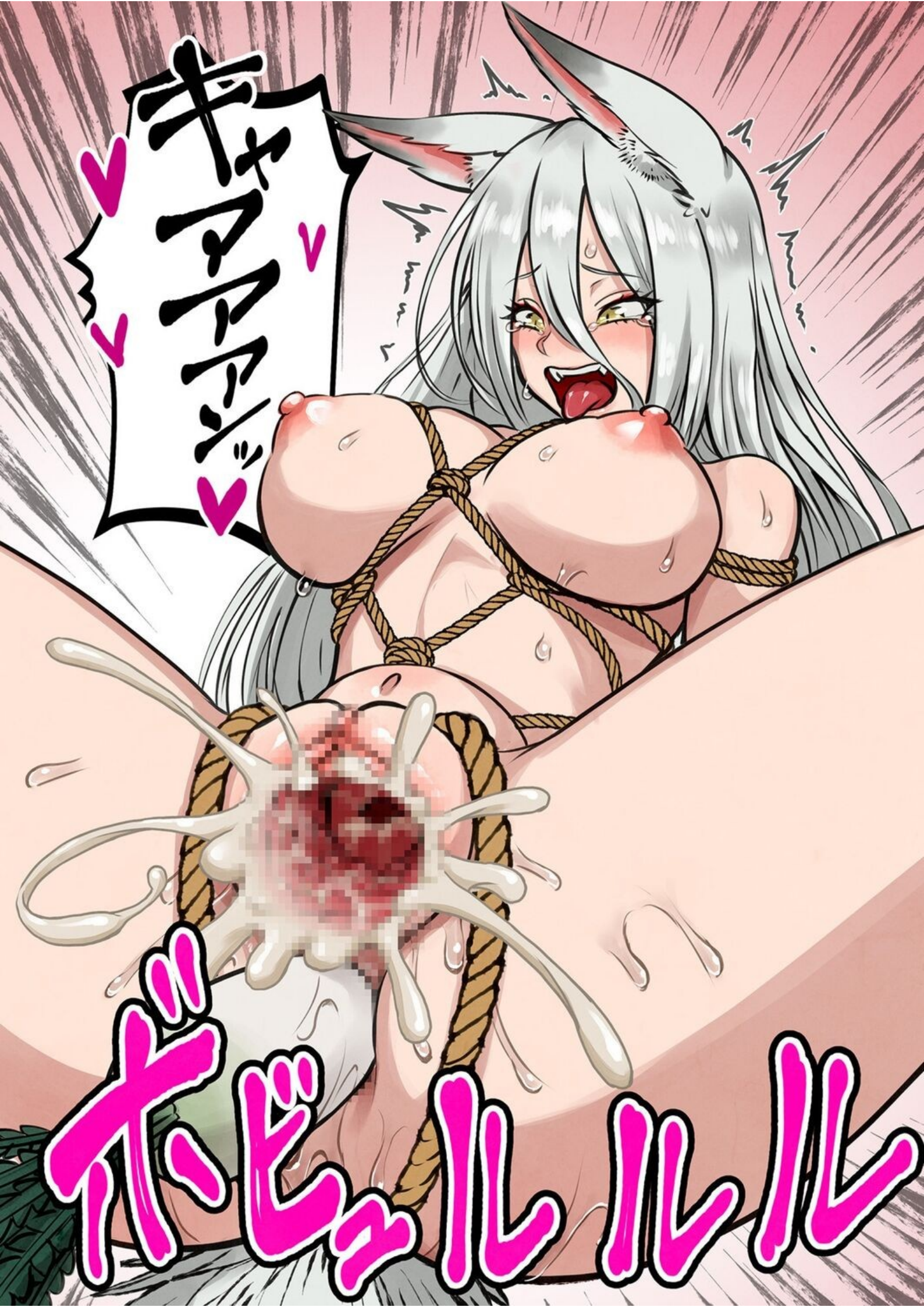
オオオオオオ
で
射精るッ
特濃種汁が

特濃種汁が
射精るぞおツ!!

もりゅゝ

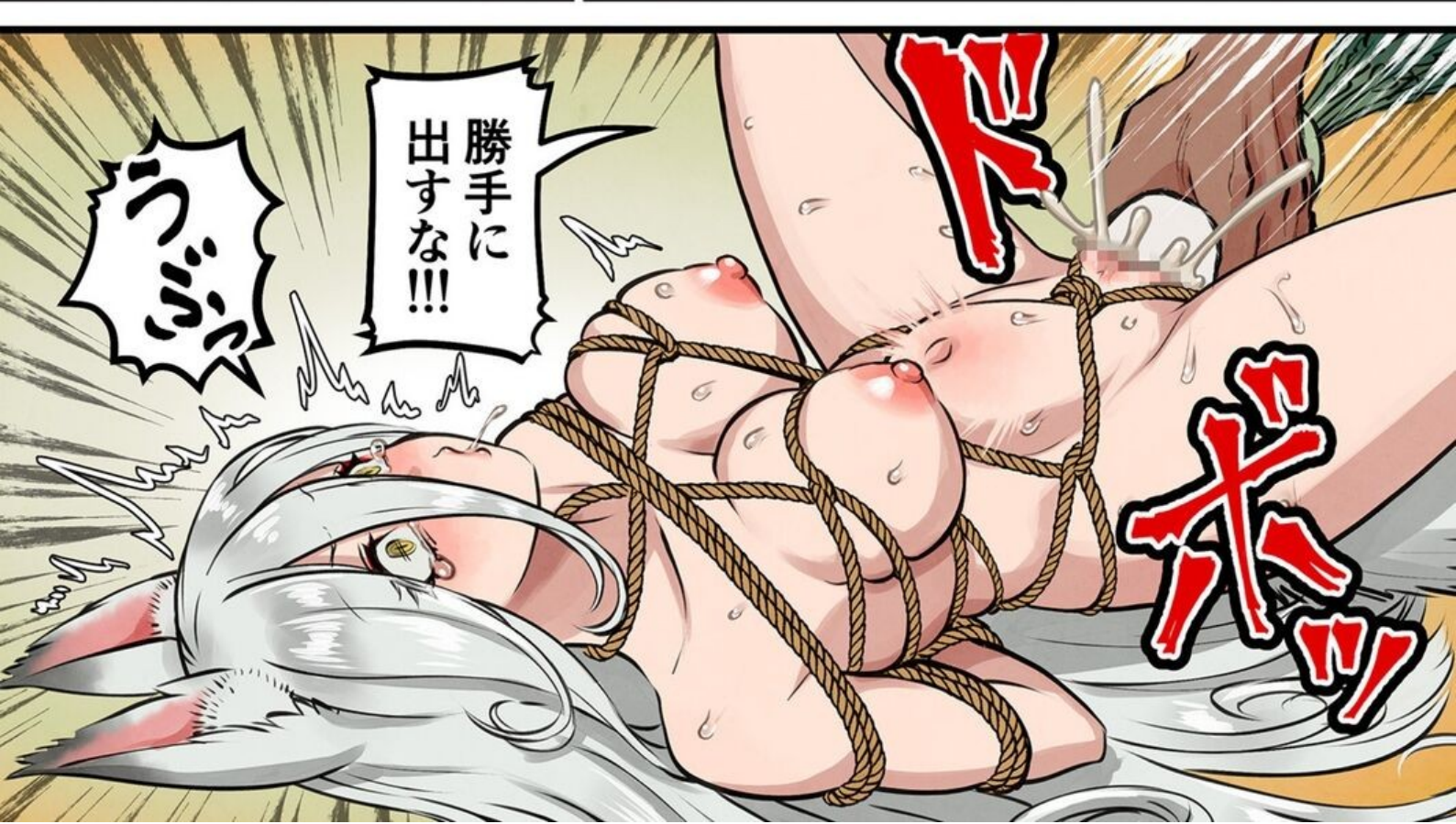
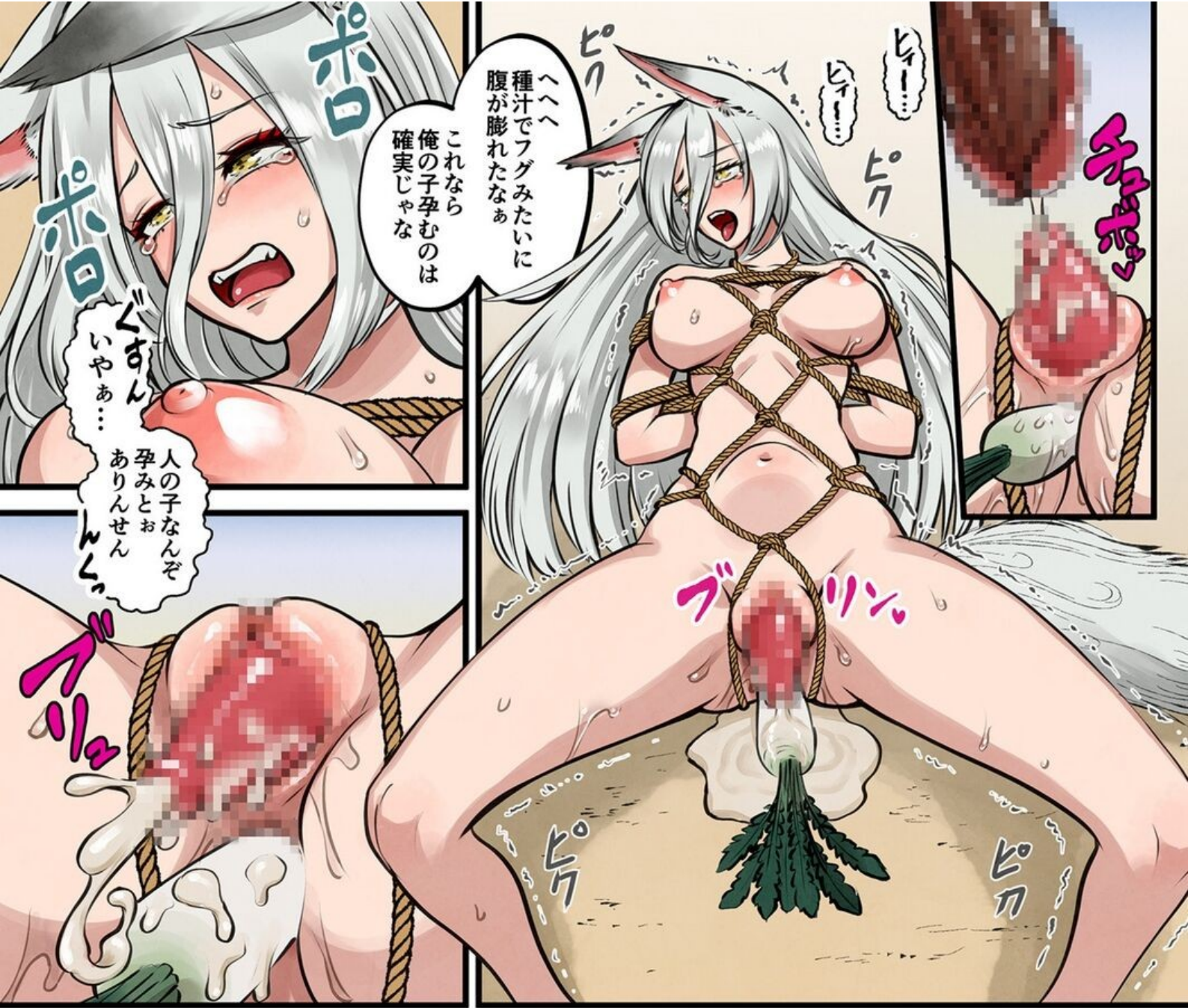
おし
人の子
孕めろろろろ!!!

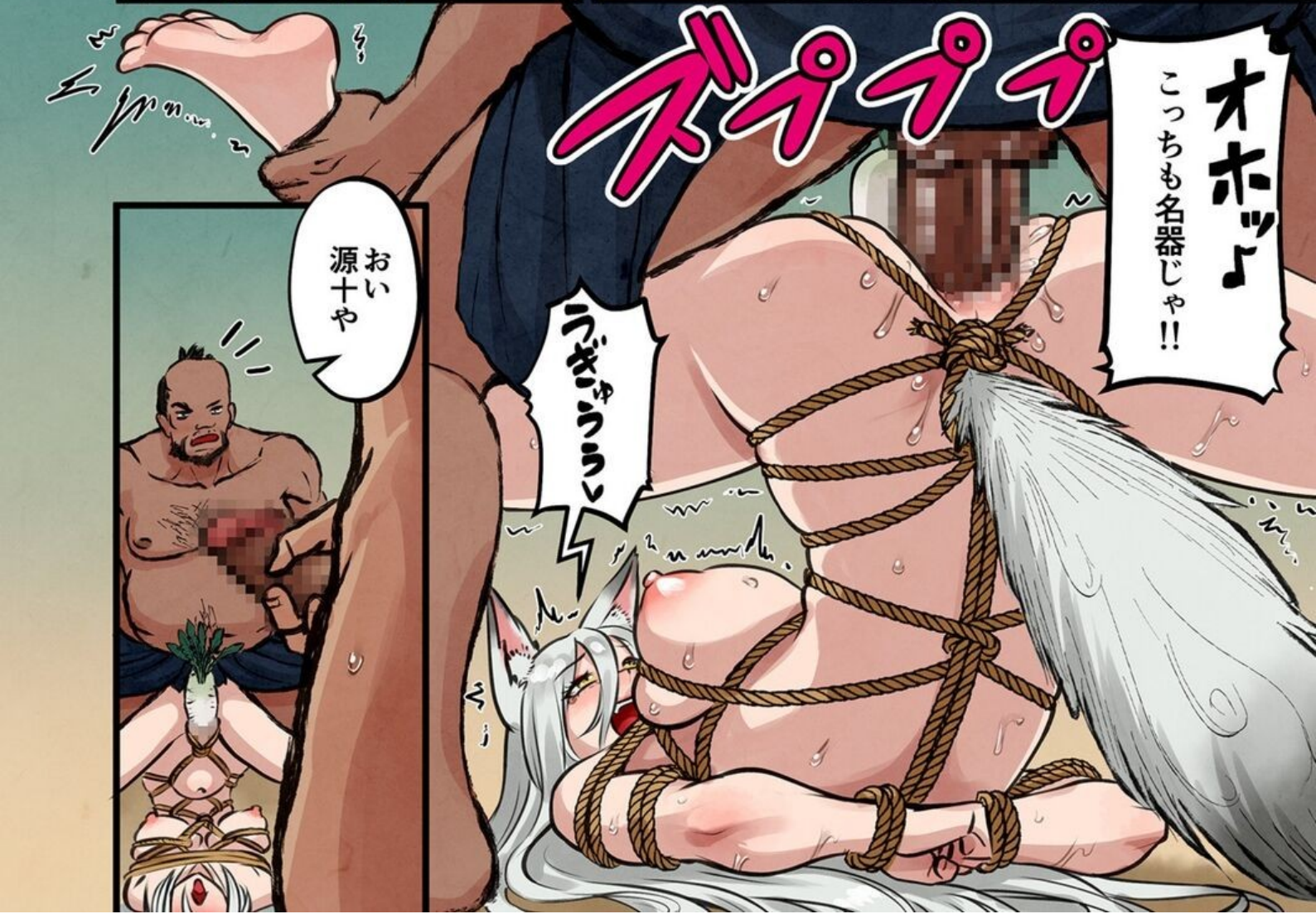
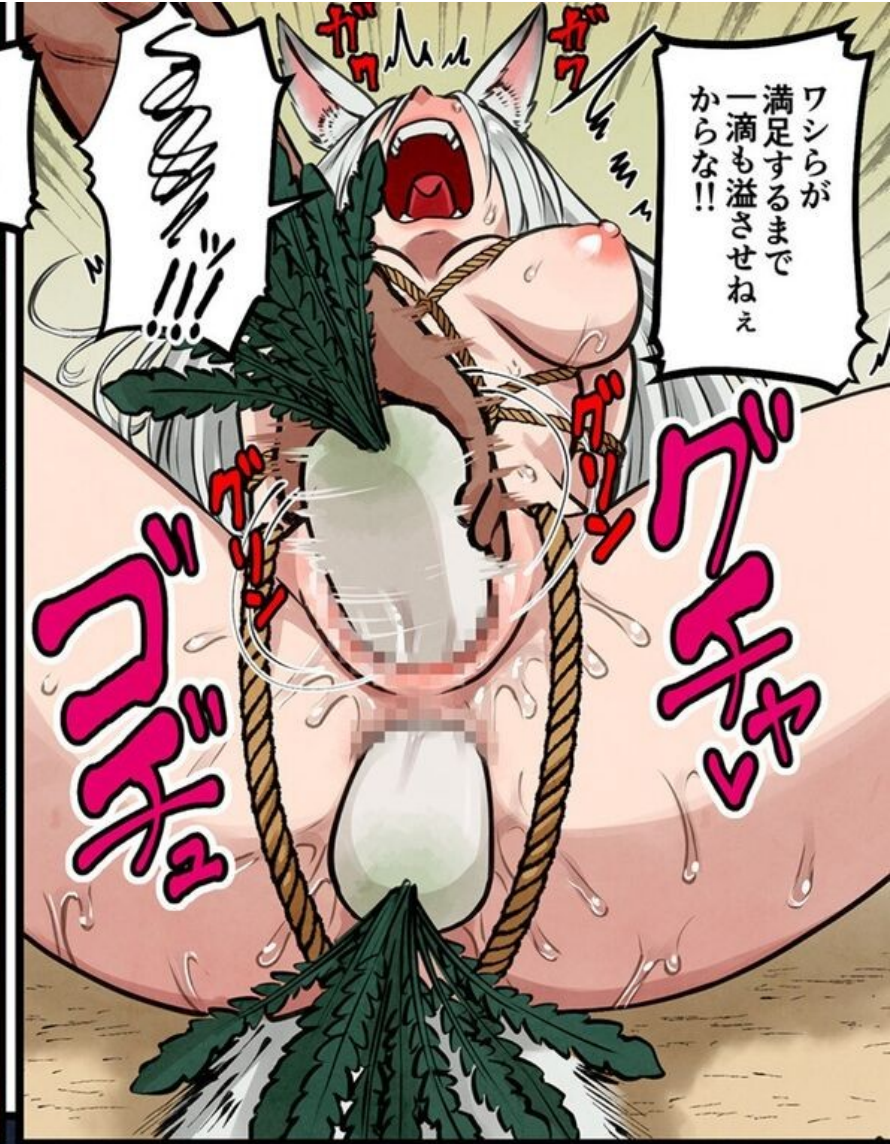
トキトキ



ギョッ

ズビュルルル







おう
やっと復帰か
ワシの後じゃ緩いかも
しれんが楽しんでくれや



今度こそおめこ
使わせてくれや



すぐ魔羅に
むしゃぶり付いて
離れなくなる
じやろツ



かまわねえよ
大根突っ込んでも
こんだけ吸い付くんだ

ちゅう
ちゅう
ちゅう



孕むまで何度でも
種汁注いでやるから
覚悟しやがれ!

られか...
たひゆけてえ...♡

ベロ

こうして子女郎は
二人の慰み者
として痛ぶられ

大根で栓を
されながら
犯され続けた

ド

ロォ

ふう〜
出した出した



キヤマンン
ン
ン

しかしよお
このあとは
どうすんべ？



ハア

ハア

村に連れて帰るに
決まってるんじやろ
家畜小屋に繋いで
新しいメス家畜を
産ませ続けるんじや

そうすりや一生
マス掻きにやあ
コト欠かかねえ



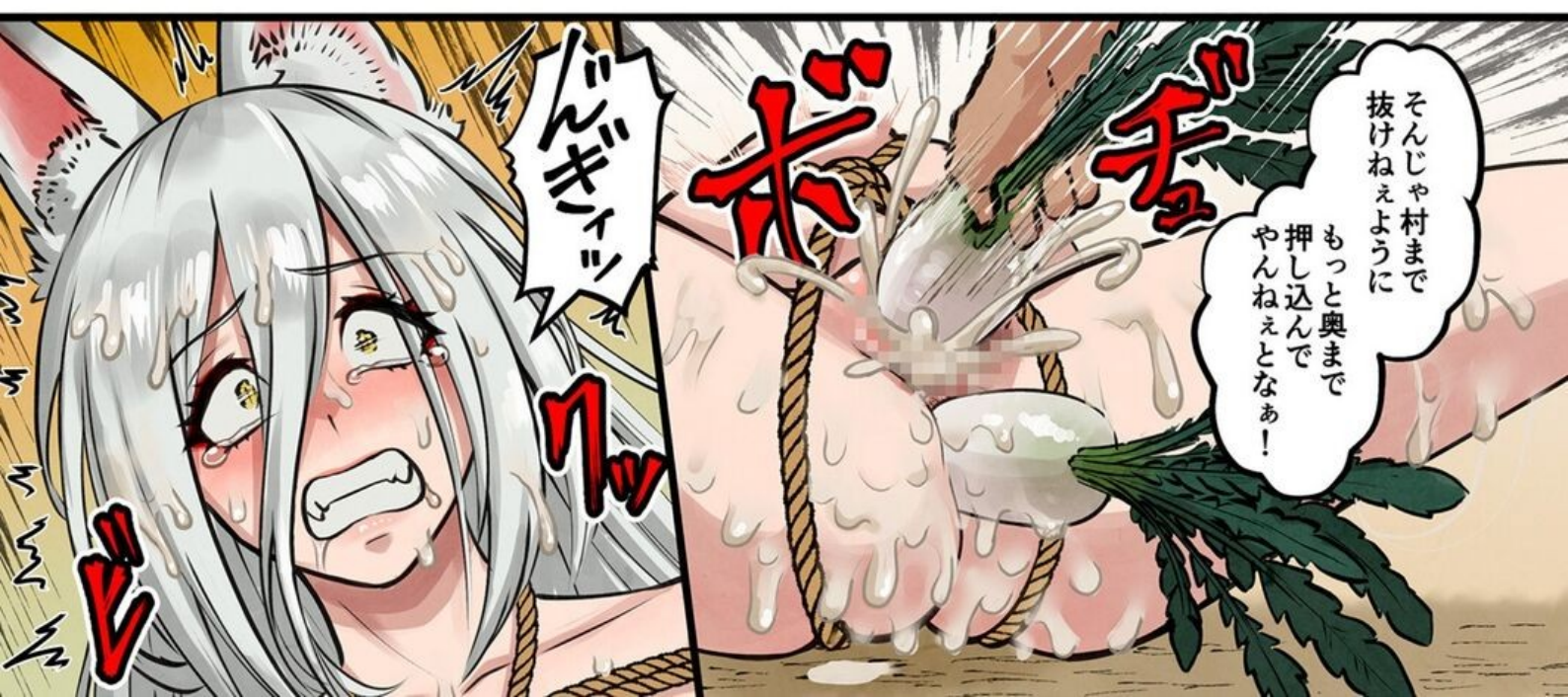
こりやあ
確実に
孕んだじやろ

栓で堰き止めながら
十数回も犯したから
なあ

ヒィー...

ボ

テ♡

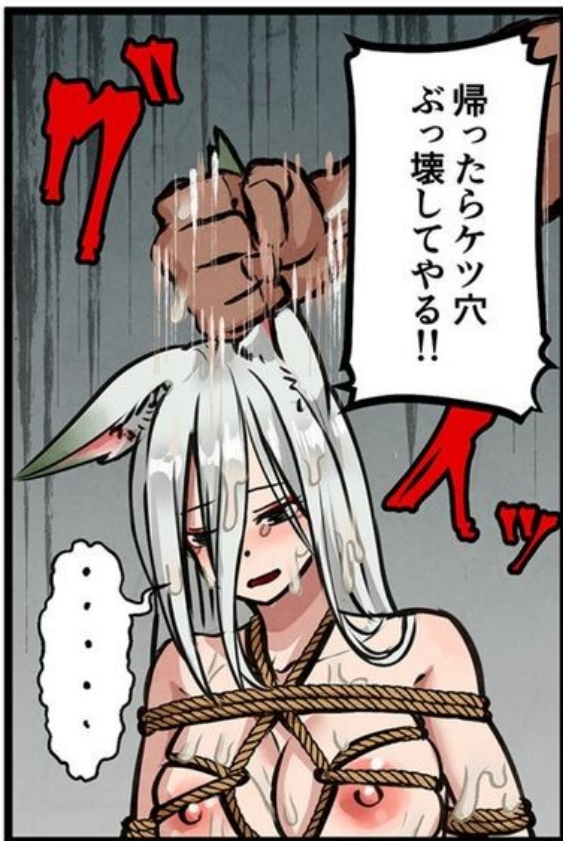
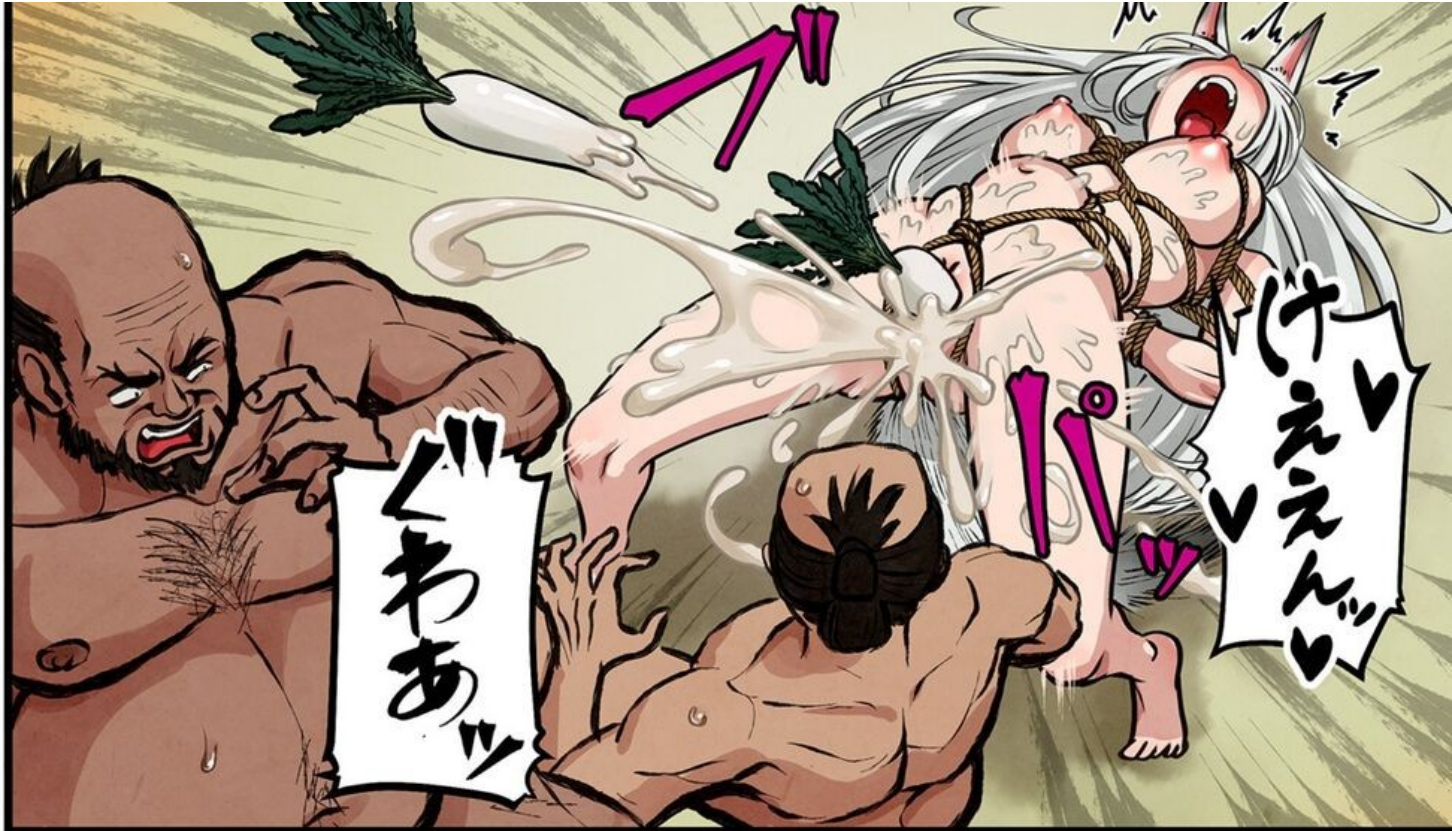


バンギンツ

ボ

チュ

そんじや村まで
抜けねえように
もつと奥まで
押し込んで
やんねえとなあ！



帰ったらケツ穴
ぶっ壊してやる!!



クソ穴に
溜まっていた種汁
ひっかけやがった

よくもやったな
このバカ狐!!



こうして
放心状態となった
子女郎を再び魚籠に
押し込めた二人は

今度は
何事もなく舟は進み
村へ帰ることができた



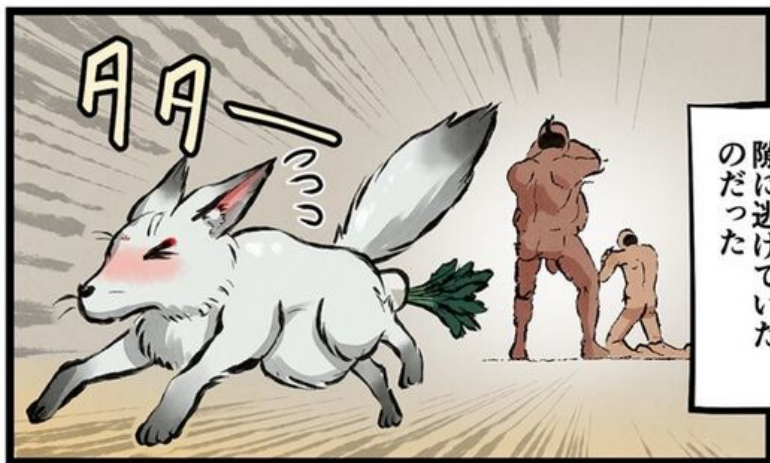
しかし

ガサ



村へ着いた二人は
「子女郎を捕まえた」と
村人を集め

ボロ雑巾のように
汚された姿を晒して
辱めてやろうとした



アア

本物の子女郎は
精液をひっかいた
隙に逃げていた
のだった

中には縄で縛った
精液まみれの
大根一本だけで

!!!



当然二人は
笑いにされ

「大根森の豪傑」と
呼ばれるように
なってしまったとき



ガッ



ガアア



おのれ
子女郎ッ!!

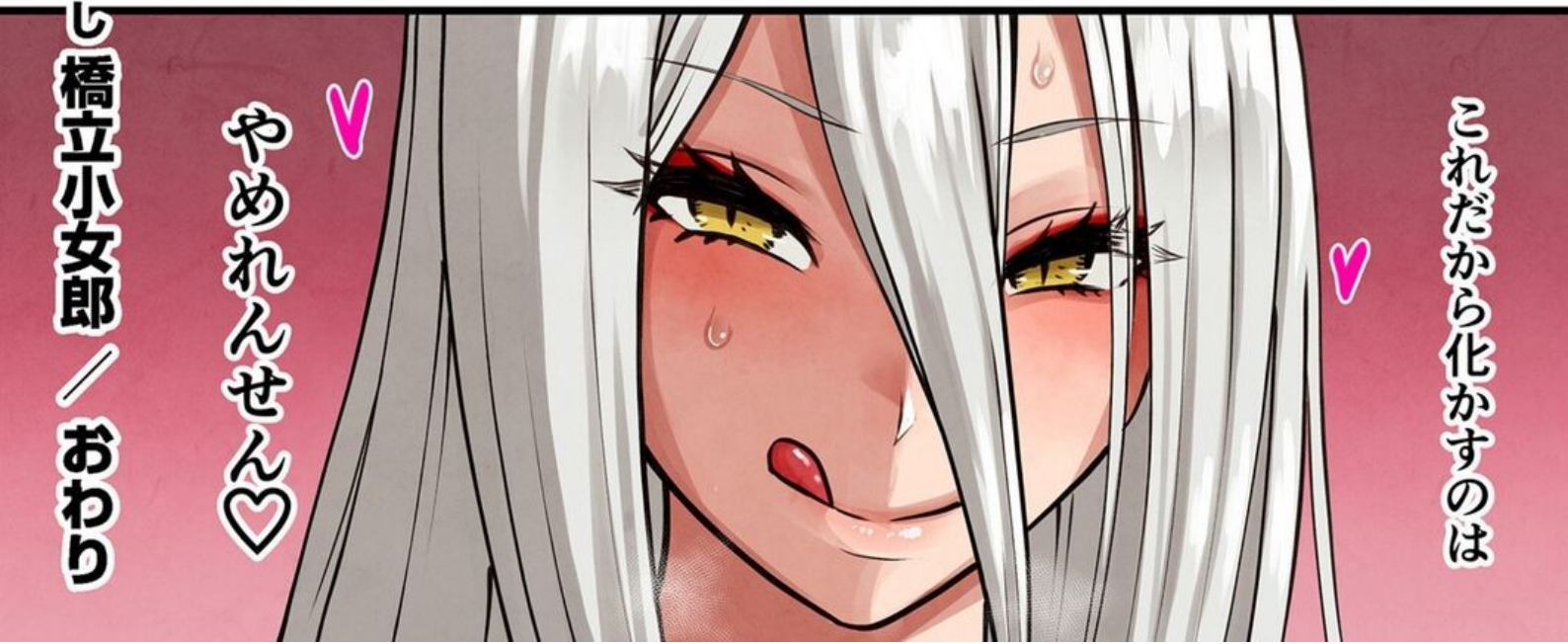
いつかこの
恨みはらして
くれるッ!!



んふ〜

やはり
人間の乱暴な交尾は
堪らんでありんす♡

ドポポ



これだから化かすのは

やめれんせん♡

日本昔エロばなし 橋立小女郎／おわり

日本昔エロばなし(3)『橋立小女郎』

著者 池竜静留

発行 プレステージ出版  COMICS

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
